

标准日本语 基础语法学习笔记

这是一本日语初学者必备的语法学习书

肖厚国 主编



大连理工大学出版社

标准日本语 基础语法学习笔记

肖厚国 主编



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

标准日本语基础语法学习笔记 / 肖厚国主编. —大连:
大连理工大学出版社, 2011.5

ISBN 978-7-5611-6245-3

I. ①标… II. ①肖… III. ①日语—语法 IV.
①H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 094826 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84708943 传真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连美跃彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:145mm×210mm 印张:10.25 字数:225 千字

印数:1~5000

2011 年 5 月第 1 版

2011 年 5 月第 1 次印刷

责任编辑:遼东敏

责任校对:张海宁

封面设计:董振巍

ISBN 978-7-5611-6245-3

定 价:22.00 元

前言

对于日语学习者来说，在学习或听课过程中，遇到重点、难点语法问题时，习惯摘抄笔记，以备随时查阅。但摘抄多了，所记录的问题不知记于何处，常常在翻阅时花费大量时间。不少学习者都遇到过这类尴尬的事情。为了解决这类问题，我们特意推出这本《标准日语基础语法学习笔记》，较系统和全面地归纳和整理了日语基础语法，分门别类地介绍和讲解，并且对于书中所出现的句型以及语法点都列出了索引，便于查找。这对于学习者来说，无疑是一本方便的语法学习工具书。

对于初学日语的人来说，语法是一个难点，比如动词、形容词等的活用形态，助词、助动词的分类以及它们各自具有哪些意义和用法，都是令人头痛的事情。本书在手，这些问题都可以解决。

本书从品词入手，系统地介绍了日语的12类品词，无论是数词的读音、音便；接续词或副词的归类；动词、形容词、形容动词、助动词等的活用规律等，都以表格的形式分别进行了归纳和整理。对于助词、助动词等语法难点，或者由这些词所派生的惯用句型，本书都务求详细地一一列出，并举例加以讲解，便于日语学习者的查阅和理解。

与普通语法书不同的是，一些语法书和教科书中没有讲解到的实用语法点，本书也尽量做了介绍。例如：

1. わざわざお送り^{おく}くださり、ありがとうございます。/ 谢谢您特意来送我。

2. よからぬ心^{こころ いだ}を抱く。/ 不怀好意。

3. 彼女の今の様子^{かみのじょう いま ようす}がどんななのかよく分^わからない。/ 不知道她如今情况怎么样。



以上三个例句估计都比较少见吧。例句1中的「くださり」是敬语动词「くださる」的连用形，对于「くださる / おっしゃる / なさる / いらっしゃる」等敬语动词，一般语法书和教科书只介绍了「ください（ます） / くださっ（て）」这两个连用形，其实它还有「くださり」这种连用形的用法。

例句2中的「よからぬ」是形容词「よい」的未然形与文言否定助动词「ぬ」的组合。一般教科书都说形容词没有未然形，实际上是有未然形的。

与例句3中的「どんな」同类的词还有「こんな / そんな / あんな」，一般辞典和教科书都称它们为连体词，但实际上，它们还是形容动词，只不过它们是特殊形容动词。

对于一些不常见的语法点，本书都做了比较详尽的介绍。此外，本书还用了较大篇幅介绍了形式体言和形式用言，以及由它们所派生的惯用句型。形式体言和形式用言在历届日语能力考试的试题中多有出现，在语法上是一个难点，本书在整理和介绍时，列出了它们的用法以及所派生的惯用句型，并详细举例加以解释。这对于日语学习者理解和掌握这些语法点，无疑会起到帮助作用。希望本书能成为您的好朋友，那将是笔者的荣幸。

为了帮助初学者学习，本书所有例句都力求浅显易懂，并且对汉字都做了假名标注。

参与本书编写的还有马鞍山师范专科学校的日语教师王莹、夏洁、韩伟、林伟。因编者水平所限，书中难免有错误或疏漏之处，盼望各位同仁批评指正。

编者

2011年5月

目 录

序论 日语的品词·····	1
第一章 体言·····	2
第一节 名词·····	3
第二节 代词·····	6
第三节 数词·····	8
第二章 用言·····	15
第一节 动词·····	16
第二节 形容词·····	39
第三节 形容动词·····	45
第三章 副词·····	52
情态副词 程度副词 叙述副词	
第四章 接续词、连体词、感叹词·····	56
第一节 接续词·····	56
第二节 连体词·····	61
第三节 感叹词·····	65
第五章 形式体言和形式用言·····	69
第一节 形式体言·····	69



の こと もの ところ はず
わけ まま ため うち つもり

第二节 形式用言..... 108

いる ある しまう おく いく くる みる
さしあげる/あげる/やる くださる/くれる いただく/もらう

第六章 助词..... 123

第一节 序论..... 123

第二节 格助词..... 125

主格助词「が」 主格助词「の」 领格助词「の」
宾格助词「を」 补格助词「を」 补格助词「に」
补格助词「へ」 补格助词「で」 补格助词「と」
补格助词「から」 补格助词「まで」 补格助词「より」

第三节 接续助词..... 149

て から ので が けれども のに
と ば たら なら ながら つつ
なり ては ても し とも

第四节 并列助词..... 180

と や やら か とか
たり の だの なり

第五节 提示助词..... 188

は も さえ すら こそ
しか でも だって って なんて

第六节 副助词..... 209



ばかり だけ まで ほど くらい(ぐらい) など
のみ なり きり か やら ずつ

第七节 终助词..... 231

か かしら かな な な(なあ) よ
ね とも わ ぞ ぜ さ
や の こと け い

第七章 助动词..... 247

第一节 序论..... 247

第二节 断定助动词「だ/です」 248

第三节 敬语助动词..... 252

第四节 使役助动词「せる/させる」 255

第五节 被动助动词「れる/られる」 259

第六节 可能助动词「れる/られる」 264

第七节 自发助动词「れる/られる」 268

第八节 复合助动词「せられる/させられる」 270

第九节 否定助动词..... 273

第十节 愿望助动词「たい/たがる」 280

第十一节 推量助动词..... 283

第十二节 过去助动词「た」 292

第十三节 样态助动词「そうだ」 296

第十四节 比况助动词..... 299

第十五节 传闻助动词「そうだ」 311



序 论 日语的品词

单词是日语句子的最小语言单位，单词与单词的不同组合，便会形成不同的意思。单词根据它在语法上的性质，也就是根据它在语法上的意义、形态和职能进行分类，便称为“品词”。

品词分为12类，如下表：

单词	独立词	有词尾 变化	可单独作谓语	用言		动词
						形容词
						形容动词
		无词尾 变化	可以作主语	体言		名词
						代词
						数词
			不可作主语	可作修饰语	作状语	副词
					作定语	连体词
				不可作修饰语	作接续语	接续词
	作感叹语	叹词				
附属词	有词尾变化					助动词
	无词尾变化					助词

各类词的主要特征，可以从上表中得到概括性的了解，如连体词的特征，它是独立词，没有词尾变化，不可作主语，可以作定语。

如要学好日语语法，必须系统地学好和掌握日语的品词。



第一章 体言

一 概念

体言是表示事物的实体概念(如名称、数量等)的词,由名词、代词、数词构成。

二 特点

第一,体言是没有词尾变化的独立词,可以单独构成句节。

第二,体言在句中可以作主语、主题及谓语、宾语、补语、定语、状语、感叹语等成分。体言在句中的地位或与其他词之间的关系,是由它后面的附属词来决定的。例如:

🐼 ^{やまだ}これが山田さんのテキストです。/这是山田的教科书。(「これ」后续「が」构成主语;「山田さん」后续「の」构成定语;「テキスト」后续「です」构成谓语。)

🐼 ^{おう}王さんは^{きのう}昨日^{のう}北京^いに行きました。/小王昨天去北京了。(「王さん」后续「は」构成主题;「昨日」独立构成状语;「北京」后续「に」构成补语。)

🐼 ^{おう}王さん、^{えいが}映画^みを見^いに行きましょう。/小王,去看电影吧。(「王さん」单独构成感叹语;「映画」后续「を」构成宾语。)

🐼 ^{きょう}今日は200メートル^{およ}泳ぎました。/今天游了200米。(「200メートル」单独构成状语。)

第三,有部分体言在句子中失去了原有体言的特点(独立性、能



做主语)，缺乏具体的意思，只是在形式上接在修饰语的后面，由修饰语或后续助词表示某些具体的意思。这样的体言称为“形式体言”。例如：

- ① ^{さいきん}最近のところ、^{かぶ}株価が^げ下落しております。/最近股价在下跌。
- ② ^{せんせい}先生だって、^{なん}何でも^わ分かるというわけではない。/即使是老师，也并不是什么都明白。
- ③ ^{ふう}夫婦が^{べつべつ}別々に^く暮らすようになったうへは、もう^{りこん}離婚するほかありません。/既然夫妻分开过日子了，也只好离婚了。
- ④ ^{つき}月日の^た経つのは^{はや}早いものですね。/日子过得可真快呀。

以上例句中的「ところ」「わけ」「うへ」「もの」都是形式体言，它们在句中失去了原来各自实质体言的意义。「ところ」接在「最近の」后，才体现它时间状语的作用；「わけ」与「ではない」相接构成惯用句型；「うへ」后续「は」，前接动词过去时态后，亦构成惯用句型；「もの」后续「です」，前接形容词，表示感叹的语气。以上这些用法，都赋予了这些形式体言新的语法含义。形式体言是比较复杂的语法词，由它派生出众多的惯用句型。本书在第五章中另有详述。



第一节 名词

一 概念

名词是表示事物或人的具体名称、不具有词尾变化的独立词。



二 语法功能

名词后续适当的助词或助动词，可在句中充当主题、主语、谓语、宾语、定语、状语、补语、感叹语等。例如：

❶ ^{えいぎょう か}営業課^{やま だくん}の山田君^{まち い}は町へ行きました。/营业科的山田君上街了。

(「営業課」后续「の」构成定语；「山田君」后续「は」构成主题；「町」后续「へ」构成补语。)

❷ ^{かれ}彼の^{びょう き}病氣^{ち りょう}を治療するの^{かね}にずいぶんお金がかかった。/为了给他治病，花了不少钱。(「病氣」后续「を」构成宾语；「お金」后续「が」构成主语。)

❸ ^{おう}王さんは^{かえ}あさって帰ってくるそうです。/听说小王后天回来。(「あさって」独立构成状语。)

❹ ^{ふ じ さん}富士山は^{うつく やま}美しい山です。/富士山是美丽的山。(「山」后续「です」构成谓语。)

三 分类

按词的来源分类，如下表：

分类	例词
日语的固有名词	^{うし} 牛/牛 ^{あさ} 朝/早上 ^{ね だん} 値段/价钱 ^{まち} 町/街 ^{がら} 柄/人品 ^{なか} 中/中间 ^{どろ} 溝/污水沟 ^{みち} 道/路
汉语名词	^{い す} 椅子/椅子 ^{がくしゅう} 学习/学习 ^{じ たい} 事態/事态 ^{せい じ} 政治/政治 ^{れき し} 歴史/历史 ^{にゅうじょうけん} 入 場 券/入场券
外来语名词	デパート/百货商店 アナウンサー/广播员 クリスマス/圣诞节 ティー/茶 ナイロン/尼龙



按词的构成分类，如下表：

分类	例 词	
单纯 名词	つばさ ^{みせ} 翼 / 翅膀 店 / 商店 はたけ ^{みずうみ} 畑 / 旱田 湖 / 湖	
复合 名词	^{したさき} 舌 先 / 舌尖 (名词+名词) ^{セメント} ^{そうこ} 倉庫 / 水泥仓库 (外来语名词+汉语名词) ^{あおしんごう} 青 信 号 / 绿灯 (形容词词干+名词) ^{わす} ^{もの} 忘 れ 物 / 遗忘物 (动词连用形+名词) ^と ^{かえ} 取 り 返 し / 挽回 (动词连用形+动词连用形) コンピューター・コントロール / 计算机控制 (外来语名词+外来语名词)	
重叠 名词	やまやま ^{しましま} 山 山 / 群山 島 島 / 诸岛 みちみち 道 道 / 每条道 き き 木 木 / 许多树	
转成 名词	加前缀、后缀或结尾 词转成	^{りょうしん} ^{りょうしん} ご 兩 親 (名词「兩 親」前缀接头词「ご」) ^{かみ} ^{かみ} お 神 さ ま (名词「神」前缀接头词「お」，后缀 结尾词「さま」) ^{おうくん} ^{おう} 王 君 たち (名词「王」后缀结尾词「君」和「た ち」) ^{せんせい} ^{せんせい} ^{がた} 先 生 方 (名词「先生」后加结尾词「方」) ^{かぜ} ^{かぜ} ^{きみ} 風 邪 気 味 (名词「風邪」后加结尾词「気味」)
	动词连用形转成	^{やす} ^{やす} 休 む —— 休 み ^{はな} ^{はな} 話 す —— 話 し ^{ちが} ^{ちが} 違 う —— 違 い ^{うご} ^{うご} 動 く —— 動 き
	由形容词连用形转成	^{ちか} ^{ちか} 近 い —— 近 く ^{おお} ^{おお} 多 い —— 多 く
	由形容词词干转成	^{あか} ^{あか} 赤 い —— 赤 ^{あお} ^{あお} 青 い —— 青 ^{しろ} ^{しろ} 白 い —— 白
	由形容词或形容动词 词干加结尾词转成	^{たか} ^{たか} 高 い —— 高 さ ^{おも} ^{おも} 重 い —— 重 み ^{しず} ^{しず} 静 か —— 静 か さ ^{しんせん} ^{しんせん} 新 鮮 —— 新 鮮 み
	由文语形容词转成 (主要用于人名)	ひろし / 广、宏、博 やすし / 康、宁、靖 よし / 芳、善、良 たけし / 猛、武



第二节 代词

一 概念

代词是直接指示事物，而不表示事物名称的、无词尾变化的独立词。

二 代词与名词的区别

名词是用名称来表示事物，而代词不用名称来指代事物。名词表示事物的实体是不变的，例如：「木」^き「猫」^{ねこ}「桜」^{さくら}，它们各自表示具体的事物，不表示其他事物。但同样一个代词「これ」，它既可以用来指代「木」^き，也可以用来指代「猫」^{ねこ}和「桜」^{さくら}。代词不仅可以指代一个单词，还可以指代一个词组、一个句子，有时还可以指代一句话、一篇文章。

三 语法功能

代词在句中与后续助词或助动词搭配，可以构成主题、主语、谓语、宾语、定语、补语等。例如：

❶ これは私^{わたし}が悪^{わる}かった、お詫^わびします。/这事怪我，我向你道歉。

（「これ」后续「は」构成主题；「私」^{わたし}后续「が」构成主语。）

❷ 彼^{かれ}はわざと君^{きみ}を困^{こま}らせているのではない。/他不是成心为难你。（「君」^{きみ}后续「を」构成宾语。）



☹ ^{かのじょ}彼女の^{ほん}本はそれです。/她的书是那本。(「彼女」后续「の」构成定语。「それ」后续「です」构成谓语。)

☹ あなたといっしょに^い行ってもよい。/可以跟你一起去。(「あなた」后续「と」构成补语。)

四 分类

代词根据它所指示的事物不同，一般可分为指示代词和人称代词两种：

① 指示代词

指示代词用来指示事物、场所、方向。

指示代词表，如下：

分类	近称(こ系列)	中称(そ系列)	远称(あ系列)	不定称(ど系列)
指示事物	これ/这个	それ/那个	あれ/那个	どれ/哪个
	これら/这些	それら/那些	あれら/那些	なに(なん)/什么
指示场所	ここ/这里	そこ/那里	あそこ/那里	どこ/哪里
指示方向	こちら/这边	そちら/那边	あちら/那边	どちら/哪边
	こっち/这边	そっち/那边	あっち/那边	どっち/哪边

分为近、中、远称和不定称四个系列，也可称之为こ、そ、あ、ど系列代词。其用法为：

こ系列代词：指在自己身边或自己刚才说过或马上就要说的事物。

そ系列代词：指离自己稍远或指在对方身边或双方刚才说过的事物。

あ系列代词：指不在双方身边或想起理应知道的事物。

ど系列代词：表示不确定或不了解的事物。

② 人称代词

人称代词用来指示人。



人称代词表，如下：

	组别	第一人称(自称)	第二人称(对称)	第三人称(他称)			
				近称	中称	远称	不定称
人称代词	甲	わたくし/我 わたし/我	あなた/您	^{かた} この方/ 这位	^{かた} その方/ 那位	^{かた} あの方/ 那位	^{かた} どの方/哪位 どなた/哪位
	乙	ぼく 僕/我	きみ 君/你	^{ひと} この人/ 这个人	^{ひと} その人/ 那个人	^{ひと} あの人/ 那个人	^{ひと} どの人/ 哪个人 ^{だれ} 誰/誰
				^{かれ} 彼/他 ^{かのじょ} 彼女/她			
	丙	おれ/我 わし/我	おまえ/你 きさま/你	こいつ/ 这家伙 こやつ/ 这家伙	そいつ/ 那家伙 そやつ/ 那家伙	あいつ/ 那家伙 あやつ/ 那家伙	どいつ/ 哪个家伙 どやつ/ 哪个家伙
说明	① 表中的甲类人称代词，含尊敬(第一人称含自谦)的郑重语，用于敬体。 ② 表中的乙类人称代词，用于一般场合。 ③ 表中的丙类人称代词，用于上下对或同辈、亲友间。						



第三节 数词

一 概念

数词是表示事物的数量或顺序、无活用的独立词。

二 语法功能

数词在句中可以作主语、宾语、谓语、定语、状语、补语等。例如：

- 6グラムを3で割ると、2グラムになる。/6克用3来除，等于2克。
(「6グラム」后续「を」构成宾语；「3」后续「で」、「2グラム」后续「に」均构成补语。)



5冊のうちの3冊が同じ著者でした。/5冊中有3冊是同一个作者。

(「5冊」后续「の」构成定语; 「3冊」后续「が」构成主语。)

お金を2万円使った。/花了2万日元。(「2万円」独立作状语, 修饰后项谓语「使った」)

猫は2匹です。/有两只猫。(「2匹」后续「です」构成谓语。)

三 分类

数词分为基数词、序数词、助数词和不定数词四种。

(一)

基数词

基数词是单纯用以计数的数词。当用以表示具体事物的数目或顺序时, 基数词要附加助数词。

① 日本固有的基数词

ひとつ/一个	ふたつ/两个	みっつ/三个	よっつ/四个
いっつ/五个	むっつ/六个	ななつ/七个	やっつ/八个
ここの 九つ/九个	とう 十/十个	いく 幾つ/几个	

② 来自汉语的基数词

いち	に	さん	し	ご	ろく	しち	はち	く	じゅう
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
じゅういち	にじゅう	ご	ろくじゅう	はち	ひゃく	にひゃく	さんびゃく		
十一	二十	五	六十	八	百	二百	三百		
よんひゃく	ごひゃく	ろっぴゃく	ななひゃく	はっぴゃく	きゅうひゃく	せん			
四百	五百	六百	七百	八百	九百	千			
にせん	さんぜん	よんせん	ごせん	ろくせん	ななせん	はっせん	きゅうせん		
二千	三千	四千	五千	六千	七千	八千	九千		
まん	にまん	さんまん	よんまん	ごまん	ろくまん	ななまん	はちまん		
万	二万	三万	四万	五万	六万	七万	八万		
きゅうまん	おく	ちよう							
九万	億	兆							